

「香取市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）」に対する パブリックコメントの実施結果について

「香取市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）」について実施したパブリックコメントの結果について、次のとおり報告いたします。

貴重なご意見をお寄せいただき有難うございました。

1. 意見募集の結果概要

施 策 名	香取市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）
意見の募集期間	平成27年11月26日～平成27年12月16日
意見の件数	提出者数： 2名 意見件数： 16件
意見への対応等	意見を参考に案を修正したもの： 2件

2. 意見の内容及び意見に対する市の考え方

No.	意見の内容（要旨）	意見に対する考え方	修正有無
1	【意見】小野川の歴史的景観地区内に船等の不法係留行為の規制をする。	船等の不法係留の“規制”については、総合戦略の基本目標等との関連性がないことから、掲載は適当ではないと考えます。なお、街なみ環境の整備については、【P19 ケ街なみ環境整備事業】【P36⑩ 歴史と文化を活かしたまちづくり】の中で取り組みたいと考えます。	無
2	【意見】米のピューレ・米ゲルなどの米を原料とした食品素材を使用した製品の開発	【P12 カ（新）農産物に対する消費者・実需者の理解の醸成と農業者の経営力強化】の中で、「ご当地メニューの開発をはじめ、大学や高校や農商工が連携した加工品開発等の新たな農産物需要の開拓を目指す」と記載されておりますことから、ご意見を参考に米を原料とした食品素材も含めた製品開発を検討します。	無
3	【意見】3世代同居を推進し、同居する住宅の建設を支援する。	ご意見に基づき、以下の「国が検討している親世代との同居を目的とした住宅改修に対する支援制度を考慮したうえで、三世帯同居のための住宅の新築・増築などに対する支援を検討する。」を追加します。	有
4	【意見】耕作放棄地を有効活用して新事業を創出する。	耕作放棄地については、現在、耕作放棄地の拡大防止に重点を置き、農業者に対する支援を行っています。耕作放棄地を	無

		有効活用した新事業に対する支援については、今後、支援を希望する農業者等の状況を考慮し、検討していきたいと考えます。	
5	【意見】古民家を活用して、国内・外の観光客が短期間（3泊4日位）宿泊する施設を第三セクターによる運営を促進する。	【P18 ア（新）香取市版DMO（観光づくりプラットフォーム）の設立支援】【P18 イ（新）千葉・江戸優り佐原観光活性化ファンドによる観光産業の振興】【P20 セ（新）宿泊施設の充実】の中で、観光づくりプラットフォームの設立支援や国の規制緩和の動向などを踏まえ、町屋ステイの展開や民泊などの取り組みを検討することとします。	無
6	【意見】飲食店等の協力を得て、地元産農産物の食材を使った創作料理を考案して、国内・外の観光客に提供するように促進する。	【P12 カ（新）農産物に対する消費者・実需者の理解の醸成と農業者の経営力強化】の中で、「ご当地メニューの開発をはじめ、大学や高校や農商工が連携した加工品開発等の新たな農産物需要の開拓を目指す」の中で、ご意見を参考のうえ、取り組みたいと考えます。	無
7	【意見】農産物特産品開発事業 地元産の美味しいお米から新メニューの開発、即ち新しい食品素材の「米ゲル」や「米粉」を使ったパンやケーキの開発を支援する。	No.2に同じ。	無
8	【意見】園芸農産振興、6次産業化 市内で生産されたブドウ、梨、イチジク等の果樹を原料にしてワイン等を生産する（仮称）「果樹農業6次産業化プロジェクト」の設立を支援する。	【P12 カ農産物に対する消費者・実需者（※）の理解の醸成と農業者の経営力強化】及び【P13 ケ園芸農産振興、6次産業化による高収益型農業の推進】の中で、ご意見いただいた内容も踏まえ、今後検討していきたいと考えます。	無
9	【意見】学校教育で食や生命の尊さを学ぶ機会として、農業体験などの充実を図ることは重要と考えられることから、取り組みを積極的に推進する。	【P17 イ 農業体験を通じての学校教育の取り組み】「地域の特色であり基幹産業でもある農業を体験することにより、農業への意識・理解を深め、食べものや命の大切さを考える態度を養うことや自然や郷土を理解し愛する心を育むことなど、食育を推進し、子どもの健全育成に取り組む。」と記載しております。ご意見のとおり、学校教育における農業体験の取り組みは、重要と考えておりますので、積極的に取り組みたいと考えます。	無
10	【意見】観光情報発信事業 国内屈指の名社である香取神宮〈官幣大社〉がお薦めのパワースポットとして近頃若い女性等の人気上昇し、参拝客が増加していることは誠に喜ばしいことである。今後とも効果的な観光情報の発信を徹底する。	【P18 ウ 観光情報発信事業】に記載のとおり、観光協会等と連携し、観光宣伝掲載、テレビ広告、ラジオスポット CM 及び観光専用ホームページなどで積極的な情報発信を行うとともに、SNSを利用した情報の発信など、ご意見も踏まえ、今後も効果的な観光情報の発信に取り組みます。	無
11	【意見】街なみ環境整備事業 時代劇のような重伝建の佐原の街なみを、歩けば歩くほど楽しくなるよう、	【P19 ケ 街なみ環境整備事業】に記載のとおり、歴史的建造物の修理や、景観に適合する建物の新築を誘導して歴史的	無

	軒が連続した秩序の感じられる街なみに整備（グレードアップ）することにより、更なる評価を高める。	景観の回復を図り、魅力のある街なみを整備いたします。	
12	<p>【意見】（仮称）佐原まちなかにぎわい創生事業</p> <p>行政と民間が一体となって、遊休不動産の活用、まちなかでの創業支援など再開発や商業活性化に取り組みを検討する。例えば空き地等を活用して映画館（仮称）佐原まちなかキネマや（仮称）香取市郷土資料館設置等。</p>	<p>【P18 イ（新）千葉・江戸優り佐原観光活性化ファンドによる観光産業の振興】及び【P20 コ 佐原駅周辺地区活性化拠点整備事業】に記載のとおり、官民連携で事業の推進を図り、創業支援などに取り組みます。また、佐原駅周辺地区の大型商業施設跡地の活用などにより中心市街地の活性化を図ります。</p>	無
13	<p>【意見】子育て創生事業</p> <p>企業も地域も参加して、みんなで若者の出会いと結婚を応援するための事業（セミナー・パーティー・市内観光名所へのミニバスツアー等）を引き続き積極的に推進することにより、晩婚化や未婚率の上昇に歯止めをかけ、目標を上回る成婚を目指す。</p>	<p>【P24 ア 子育て創生事業】に記載。</p> <p>市では、独身者の縁結びを支援する“婚活事業”を実施しており、事業の推進にあたり、市内の団体等が参画した実行委員会を組織し、定期的に協議を実施しています。</p> <p>今後も、出会いの場となる様々なイベントの開催や結婚に向けてのセミナー等を開催し、婚姻率・出生率の改善に取り組みます。</p>	無
14	<p>【意見】若い世代の子育て</p> <p>育児に積極的ないわゆる「イクメンパパ」を応援するため、子育てに関する情報が詰まった父親向けの冊子を作成する。即ち母子健康手帳ならぬ（仮称）父子健康手帳を作成・配布し、父親の育児に対する意識を高める。</p>	<p>【P27 ウ ママパパ教室事業】において、助産師、保健師等が、妊婦と夫等を対象に妊娠・出産・育児に関する知識の普及、父親の役割等について集団教育・実習を実施する中で、父親の育児に対する意識の向上を図るとともに、ご意見を参考に、今後、父子健康手帳のような冊子についても検討していきたいと考えます。</p>	無
15	<p>【意見】若い世代の結婚</p> <p>新夫婦の結婚記念日に2人の門出をお祝いし、香取市に愛着を持ってもらうために、カラフルなオリジナルご当地婚姻届並びに出生届の作成を検討する。</p>	<p>婚姻届については、民間でデザインした届出用紙や結婚情報誌等の付録などが利用可能なことや出生届は、出産した病院で作成される場合が多いことから、ご当地婚姻届及び出生届の作成は検討しておりません。</p>	無
16	<p>【意見】地域エネルギー事業の創出</p> <p>昨今、電力システムの環境が大きく変化（来年4月から電力の小売完全自由化）するなか、エネルギーの地産地消が地域の雇用創出や活性化に果たす役割が高まっている状況にある。そして日本は2030年時点で電力構成の22～24%を再エネにする目標を掲げました。</p> <p>ついでに、地域のごみや里山の間伐材などを燃やして出た熱を家庭や企業が利用する取り組みを検討する必要がある。二酸化炭素（CO2）の排出も抑えられることから低炭素社会の構築にもつながる。なお、木材協同組合、森</p>	<p>日本の再エネ目標は、欧米の先進的な目標である40%超には、ほぼ遠い状況となっていますが、地域特性を生かした木質バイオマスの「間伐材の利用」拡大など、多様な自然エネルギーの導入を積極的に推進することにより、日本でも目標を引き上げ可能であると思われることとます。</p> <p>【P32④イ】については、ご意見を踏まえ、地域の雇用創出も含めた意欲的な目標に改め、「太陽光・太陽熱・風力・地熱・水力・バイオマス等の多様な自立・分散型の再生可能エネルギーの導入を推進し、災害に強い安全で持続可能な社会を構築し、人々が集うまちを創造するた</p>	有

	<p>林組合など林業従事者との関係構築が必要となる（太陽光発電、バイオマス発電、その他）</p>	<p>め、地域内で経済の好循環が生み出されるよう導入拡大を加速化して、低炭素で省エネルギー型のまちを創出する。」に修正いたします。</p> <p>なお、「ごみ」や「燃やして出た熱の利用」につきましては、関係機関等との調整など長期的な開発期間を要する事業となることが予想され、本事業の5年間では実現性が少なく、地域性を踏まえて、今後の課題とさせていただきたいと思っておりますので、ご理解願います。</p>
--	--	---

3. 問い合わせ先

香取市役所 総務企画部 企画政策課
 TEL 0478-50-1206 / FAX 0478-52-4566